

# 第1学年のありまなビジョン

## 子どもの実態をふまえた研究仮説

友達に対して、積極的に声をかけたり助けたりできる児童が多いが人間関係が広がったことで、友達同士のトラブルや固定の友達を好んで遊ぶ様子が見られるようになった。よりよい人間関係を築くために

① 自分も相手も大切にすること②なぜ?どうして?を大切にすること③助け合うこと

上記3つを進めていくことで課題解決をはかりたい。

様々な感じ方や考え方に触れることで、自分中心ではなく、人の考えを知ることができるようになるだろう。自分だけでなく相手の気持ちや行動について考える力をつけることで、日常生活の中でよりよい人間関係を作ろうとする意欲に繋がると考えた。

## 教科等横断的な学習活動

